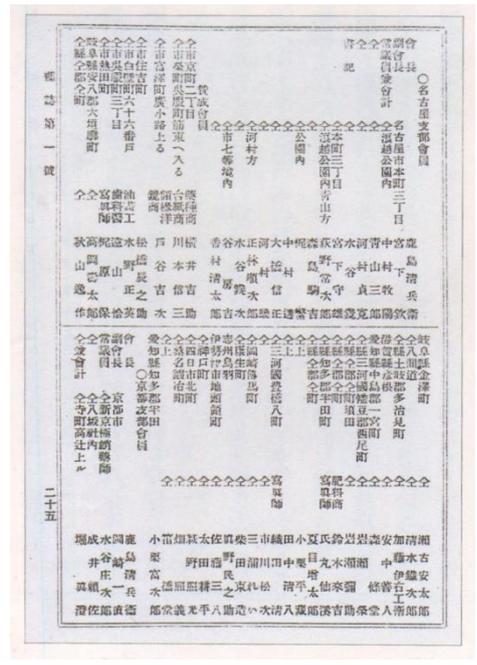


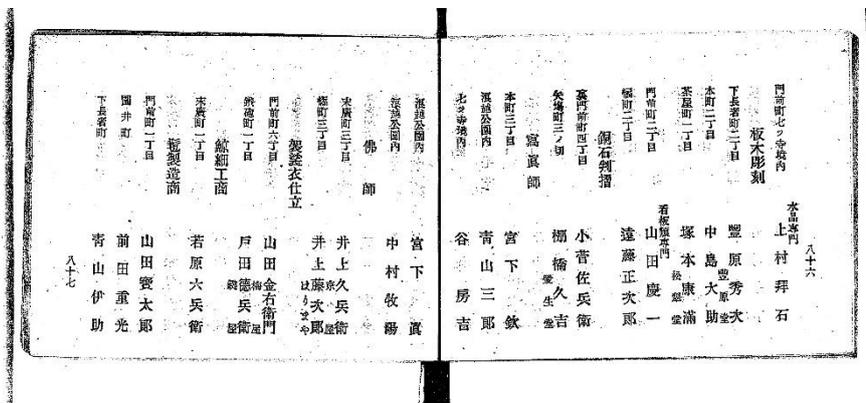
幕末明治の写真師列伝 第四百十二回 宮下欽 その六十

明治26年(1893)6月23日に、大日本写真品評会が創設された。この会は写真作品の出品、批評、研究発表、写真展の開催などを目的としたもので、翌明治27年(1894)3月には名古屋にも大日本写真品評会名古屋支部が設立され、宮下欽は副会長に選任されている。(会長は鹿島清兵衛)また、ここには宮下守雄の名も見える。

大日本写真品評会編『大日本写真品評会集誌 第老號』(大日本写真品評会、明治27年[1894])
 これでは宮下欽の住所は、「副会長 名古屋市本町三丁目 宮下欽」とある。



明治27年(1894)7月25日から翌明治28年(1895)4月17日にかけて日本と清国の間で日清戦争が行われた。宮下守雄は近衛兵として従軍し、清国、台湾にの軍に従い転戦し、帰国後、その功を賞されて勲八等瑞宝章並びに金五十円を賜る。



神谷鑄三郎編『名古屋市独案内』(金池堂、明治27年[1894]) これでは宮下欽の住所は、「本町三丁目」とある。

明治29年2月14日、松代出身の中村利一(註:中村利一については後の詳述する)が、宮下欽を頼って名古屋の宮下写真館へ入門する。
 (森重和雄)

明治30年(1897)1月3日『東京朝日新聞』朝刊8面記事。この記事では宮下欽の住所は、「名古屋市本町三丁目」とある。

